

池間大橋



路線名	一般県道池間大浦線
規格	第3種4級
架橋位置	起点側：宮古島市平良字池間（池間島）
	終点側：宮古島市平良字狩俣（宮古島）

橋種	一般部：PC4, 5径間連続箱桁橋 航路部：PC3径間連続箱桁橋
橋格	2等橋
橋長	L=1,425m
設計速度	50.0km/h
有効幅員	車道6.25+歩道1.5 (m)
支間割	4@50+4@60+(60+80+60)+4@60+5@60+4@50+45(m)
平面線形	R=∞
架設工法	標準部：架設桁によるプレキャストボックス張出し架設工法 航路部：移動式作業車による現場打ち張出し架設工法
クリアランス	W=80.0m H=12.8m (30t漁船対象)
設計荷重	T-20、L-14
地質概要	海浜砂礫層、琉球石灰岩層、島尻層風化泥岩、島尻層の順に層があり、琉球石灰岩の不均質性・空洞等を考慮して支持層を島尻層とする
事業費	約99億円

建設経緯

池間島は沖縄本島から南西へ約300km離れた宮古島よりさらに北西へ約1.8kmに位置する。池間大橋は、長年にわたる度重なる要請活動を経て、昭和56年度に市町村道事業として、池間大橋建設事業がスタートし、昭和60年には県道池間大浦線として認定され、県道事業として整備が始まり、平成4年2月に開通した。開通後は、島民の医療環境、生活環境が改善されたのに加え、コバルトブルーの海に架かる美しい橋として、多くの観光客が訪れる橋となった。

年月日	事項
昭和38年	平良市池間～狩俣架橋構想調査
昭和44年	平良市から琉球政府へ架橋建設要請
昭和49年	池間区民から平良市へ架橋建設要請
昭和53年	平良市から沖縄開発庁へ架橋建設要請
昭和53年10月	池間架橋建設期成会結成
昭和53年～55年	池間架橋建設基礎調査（県実施）
昭和56年	池間大橋建設事業が国庫補助採択される（市町村道）
昭和56年～59年	平良市道として取付道路等整備（市実施）
昭和57年～（61年）	技術検討委員会で橋梁形式等審議
昭和59年～（60年）	平良・池間・伊良部の三漁協総会において漁業補償及び埋立てに関して同意
昭和60年12月	海中道路に関する公有水面埋立て免許取得
昭和60年12月	県道池間大浦線認定告示
昭和61年3月	県道事業として池間大橋建設工事始まる
昭和62年3月	開口部橋梁完成
昭和62年8月	本橋部橋梁下部工着手
昭和63年9月	本橋部橋梁上部架設工着手
平成2年5月	本橋部橋梁下部工完成
平成2年8月	マイロード事業選定
平成3年5月	橋面工着手
平成3年8月	本橋部橋梁上部工連結
平成4年2月14日	開通
平成24年3月	上部工補修工事（表面被覆工）
平成25年11月	上部工補修工事（表面被覆工）
平成26年10月	下部工補修工事（断面補修・表面被覆工）
平成27年1月	下部工補修工事（断面補修・表面被覆工）

池間島の概要

位置：宮古島の北西約1.8km
 人口：657人（平成26年）
 世帯数：392戸（平成26年）
 面積：2.83km²
 産業：漁業（カツオ漁）と農業（サトウキビ）が主な産業。宮古島の北に位置し、かつて地元では、「はての島」と呼ばれていた。

池間大橋の特色

- 塩害対策、過酷な自然条件を考慮し、プレストレストコンクリート・プレキャストブロックの片持ち張り出し工法を採用。
- マイロード事業に選定され、「コバルトブルーの雄大な海に架かるダイナミックな橋梁景観」を創出するため、宮古島と池間島の自然や文化を橋面工に取り入れ、橋梁景観を間近に眺める橋詰め広場が設置された。

※マイロード事業の目的

地域の個性と創意工夫を活かした地域振興施策に関連する道路について、重点的に整備を推進するとともに、心のよりどころとなるような道路を創出することにより、魅力と活力のある地域づくりを支援することを目的とする。



親柱（材質は地元産のトラバーチン）



正面（宮古島から池間島向け）



中柱・高欄

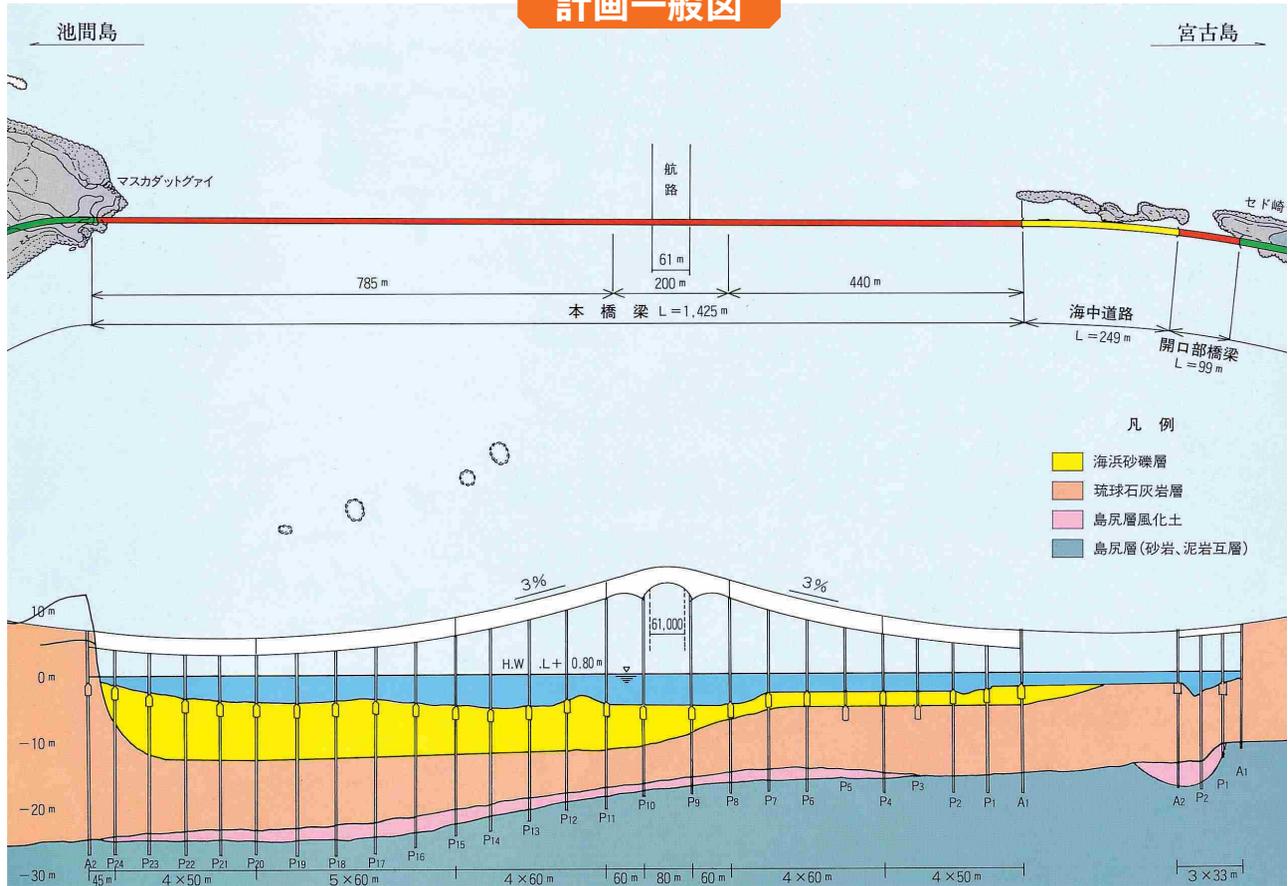
●中柱

橋脚箇所には中柱を設置して、池間島の美しい海と自然の豊かさをアルミ鋳物や、地元の焼物タイルで表現している。

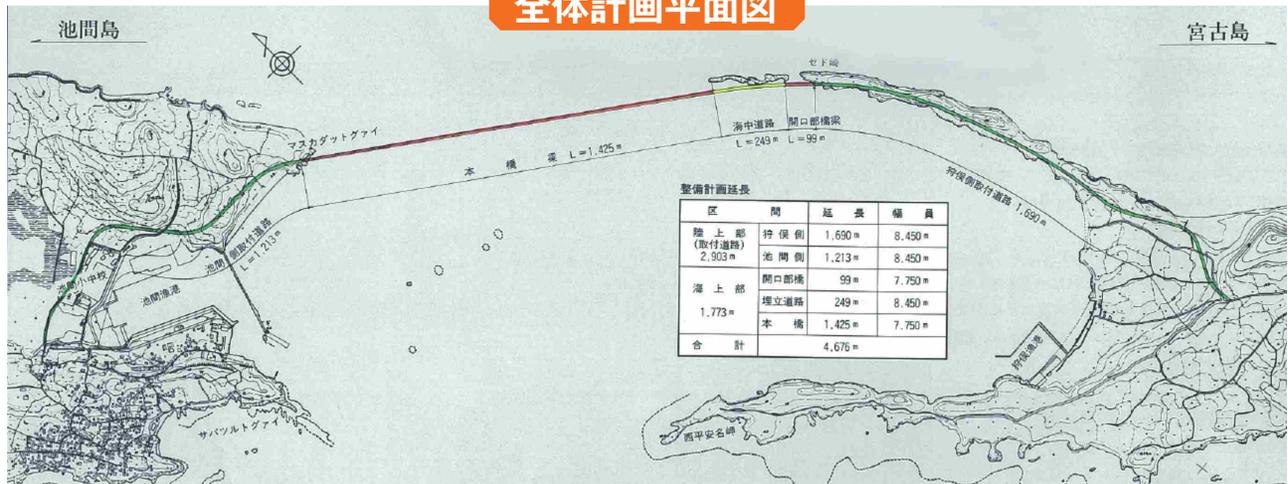
●高欄

遮風効果を兼ねたアルミ壁高欄に、地元の宮古上布の織物の絵柄で有名な星形を抜取り、情緒をかもしだし、背後の海と一体となった景観を創出している。

計画一般図



全体計画平面図



●構造形式

上部工形式

一般部：PC4, 5径間連続箱桁橋
航路部：PC3径間連続箱桁橋

下部工形式

A1, A2橋台：逆T式
P1～P24：橋脚Y型式（R面取り）

基礎工形式

A1, A2橋台、P1～P24橋脚（P3, P5橋脚除く） 鋼管杭基礎φ1000
P3, P5橋脚 基礎直接

